教育委員会定例会（平成２０年１１月）会議録

１．日　　時	平成２０年１１月６日（木）　１６：００　～　１８：００
２．場　　所	新居浜市庁舎　３階　応接会議室
３．出　席　者	委員長　小　野　正　師 委　　員　宇　野　征　一　　太　田　恵理子　　桒　田　敬　子 教育長　阿　部　義　澄 事務局長　池　内　貞　二 総括次長　日　野　　清 次　　長　真　鍋　智　明 課　　長　近　藤　清　治　　村　上　久　和 館　　長　坂　本　睦　美 副課長　曽　我　幸　一
４．教育長の 一般報告	教育長報告 １０月分行事報告及び１１月分行事予定について その他
５．記録者氏名	社会教育課　日 野 里 美
６．会議の概要	＜議　案＞ 議案第３１号　平成２０年度新居浜市教育委員会点検・評価報告について（原案可決） ＜その他＞ （１）　教育委員会取組方針（案）について

小野委員長	それでは定刻がまいりましたので、平成２０年第１１回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、宇野委員さんと桒田委員さんにお願いいたします。会期は本日限りと致します。平成２０年第１０回定例会の会議録については、太田委員さんと宇野委員さんにご署名をいただいております。 それでは教育長さんの一般報告からお願い致します。
阿部教育長	それでは、一般報告を行います。資料の２ページをご覧ください。１０月の主な行事についてご報告致します。 ３日　市内小学校で『学校へ行こう日（デイ)』の行事がもたれ、参観授業やいろいろな行事が発表されました。地域の見守り隊の方々との対面式やふれあい給食、人権・同和教育授業参観と講演会、ＣＡＰワークショップ、薬物乱用防止教室等が発表されました。若宮小学校ではサッカー元日本代表の中西英輔さんを招き、「ボールを使った運動教室」が開催されました。市内全小学校で３，６０２名の来校者がありました。 ３日から４日　平成２９年に開催される予定の、愛媛国体の新居浜市での開催予定種目の視察のため、大分県の大分市、別府市、国東市を訪れ、サッカー、軟式野球、セーリング、重量挙げ会場を視察致しました。なお、重量挙げ成年８５キロ級スナッチで遠藤裕輝選手が優勝し、１６日に市長へ優勝報告に関係者と来られました。 ５日　平成２０年度生き生き幸せフェスティバルが開催されました。雨天での開催となりましたが、多くの参加者やボランティアさんの協力のもと盛大に行われました。 第１８回えひめお母さんコーラス大会ＩＮにいはまが開催されました。雨天の中でしたが、参加者の家族や熱心な愛好者により、秋の色が深まりつつある山々に美しい歌声が響いていました。 ７日　愛媛県砂防ボランティア協会の主催で、砂防学習会が行われました。大生院小学校５・６年生・中学校１・２年生の一部と３年生、保護者・地域関係者の参加のもと自然災害に対する関心を持ち、日ごろから「気象及び地震情報」に注意し、「早めの非難を心がける習慣」を身につけるとともに、学童期に「命の大切さ」や「自分の命は自分で守ること」を学習することにより、将来の地域における防災のリーダーを育てる目的で開催されました。 中学校新人体育大会が開催されました。上位チームや上位入賞者は、１０月３１日からの東予新人体育大会へ参加しました。 ８日　「にいはまスクールエコ運動」認定証の授与が角野小学校と神郷小学校へ行われ、学校代表児童に対して市長から認定証が授与されました。これは、平成１８年度から一定基準の環境活動を実施している学校から申請があった場合、審査員４名で審査を行い、認定とな

	った時は「にいはまスクールエコ運動」(地球にやさしい学校づくり)の認定証を交付することにしています。新居浜市からの認定校は、垣生小学校と合わせて３校となりました。 ９日　第２３回新居浜市民俳句大会が開催され、投句数も７４６句に達し、盛会裏に終えることができました。市長賞として「浮上海女太陽蹴りてまた潜る」鈴木マキ子さん、教育長賞として、「印籠の房が地を擦る阿波おどり」筒井ほみ子さんに贈られました。 １０日　平成２０年度中学生国際交流アメリカ訪問団結団式並びに壮行会が、佐々木龍新居浜市長、藤田統惟新居浜市議会議長の参加のもと、参加生徒、保護者、各校校長等で開催されました。最後に大生院中学校村上　奨さんが抱負を力強く述べてくれました。 １２日　第３９回新居浜市民体育祭開会式が、健康・躍進・奉仕の大会スローガンのもとに市営野球場で盛大に開催されました。なお、市民体育祭において、平成２０年度新居浜市体育功労賞が小西 明氏、鈴木 辨氏に贈られました。 地域対抗種目が１２・１３日の両日に７種目競技が行われ、１，５６９名が参加しました。また、オープン種目として９月１７・１８日にクロッケーが開催され、１２６名が参加、１０月５日にバレーボール小学生の部が行われ１７０名が参加しました。１２・１３日には２３種目が行われ、約３，６００人が参加しました。 １４日　教育委員会の点検・評価に関する事務事業説明会を開き、評価委員の今井基博氏、小野トヨミ氏に説明しました。結果は１１月の定例教育委員会で報告され、１２月市議会に報告書の提出がなされることになります。 ２１日　第５８回新居浜市美術展前期展が、洋画・書道・陶芸・版画の部門で２６日までの期間、開催されました。 ２２日　第４４回新居浜市小学校陸上記録会が河川敷陸上競技場で開催されました。市内のすべての小学校が参加し、放課後の特別練習などで鍛えられた学校代表の選手たちが熱い思いで日ごろの成果を発揮してくれました。６０ｍ走で８秒５の記録を出した船木小学校６年鈴木花奈さん、１００ｍ走で１２秒８の記録を出した角野小学校６年伊藤凌央さんの ２ 名が新居浜市陸上記録会新記録を出してくれました。また、６０ｍハードル走では９秒０の記録を出した金栄小学校青木一希さんが陸上記録会タイ記録を出しました。個人種目の４位までと４００ｍリレーの上位４校が１１月１０日に開催される、第２１回愛媛県小学校陸上記録会に、新居浜市代表として参加します。県大会でも好成績が出るものと期待しております。 ２３日　平成１９年度の決算特別委員会が開催されました。 ２４日　第３９回新居浜市民体育祭反省会が開催され、次年度へ向けての建設的な提案や意見がありました。

	２５日　市の総合防災訓練が山根グラウンドで開催され、角野校区を中心に上部地区の各校区の参加で行われました。また、角野小学校の全児童と参加保護者とで、土嚢作成・煙体験・消火訓練・起震車による地震体験等を行いました。 平成２０年度第５３回秋の芸術祭の第１部が開催され、１１月３日までの期間に第５部まで開催されました。 ２６日　第３２回全国育樹祭が「育てよう　緑あふれる　日本の未来」を大会テーマとして、県武道館で皇太子の参加のもとに約３，３００人が全国から集い、開催されました。これまでの愛媛県下の取組が紹介されたり、小中高校生の表現ダンスがメインテーマアトラクションとして発表されました。 身体障害者チャリティー第２５回ウエイト制オープントーナメント全日本拳武道選手権大会が市民体育館で開催されました。小学生から成人までの予選を勝ち抜いてきた選手たちの激しい闘いに、日ごろの練習の成果と厳しさを感じさせられました。 ２８日　平成２０年度中学生国際交流アメリカ訪問団がそれぞれの目標を持って出発していきました。見送りに来られました保護者・校長はじめ学校関係者・教育委員さんお世話になりました。帰国につきましては、１１月７日２２時３０分ごろ新居浜市役所に到着予定です。 大生院小学校でＣＡＰ子どもワークショップが実施されました。今年４月３０日から開始され、新居浜市のすべての小学４年生へ実施されました。下校時に不審者と遭遇した場合の「NO(いやという) GO(にげる)　TEL(相談)」の合言葉、権利としての「自信を持って生きる権利、自由に生きる権利」といった内容など、役割演技を行いながらわかりやすく指導が行われていました。教職員や保護者向けには、児童向けのワークショップについての説明を中心に、虐待で傷ついた子どもへの心の応急手当や虐待防止プログラム、子どもとの対話の技術の習得に関する内容などの講習が行われました。 第５８回新居浜市美術展覧会の後期展が１１月２日までの期間、日本画・写真・華道・美術工芸・商業デザイン・彫塑立体の部門で開催されました。 ２９日　今年度取り組んでいる垣生小、高津小、金栄小、中萩小、東中学校の耐震工事が完工しましたので、現地視察を行いました。昨年度よりも約二ヶ月早く完了することができました。これで、耐震工事が必要な施設７６棟のうち３３棟が完了したことになります。補強の必要のない棟も含めると、耐震化率は６０．２%となりました。 ３０日　愛媛スポレク祭２００８への出場選手団の打合せ会がもたれました。１８種目、４２６人の選手が参加いたします。 四国電力新居浜宮脇支店長さんや広報担当者と教育委員会委員と

	のエネルギー教育の在り方について交換の場が持たれました。これまでも、企業の地域貢献の一つとして小中学校へ、エネルギー教育や環境教育についての出前授業が実施されており、今後の取り組みや学習指導要領の改訂されたことにより、エネルギー教育についての意見交換がなされました。 １１月１日　子どもたちの健やかな成長を願って、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」が制定され、「えひめ教育の日制定記念大会式典」が、ひめぎんホールで開催されました。宇野征一委員さんに出席していただきましたので、後程ご紹介していただければと思います。 ２日　第５８回新居浜市美術展覧会授賞式が執り行われました。出品点数４４３点の中から総勢８４ 名の方々が受賞されました。 校区文化祭が、金子・浮島・若宮・船木・大生院・角野校区で実施されました。 ３日　第２３回新居浜市駅伝競走大会兼第５２回新居浜市中学校駅伝競走大会が駅伝競走に適した天候のもとで開催されました。中学男子は、１位角野中Ａ、２位川東中Ａ、３位東中Ａ、中学女子は、東中Ａ、２位角野中Ａ、３位西中Ａとなりました。１１月２３日の県駅伝大会へ参加するチームには、さらにチーム力の向上を図り、コンディションづくりに配慮して、記録を伸ばしてもらいたいものです。 校区文化祭が、垣生・神郷・多喜浜校区で実施されました。 ５日　愛媛県指定・幼稚園・小学校関連訪問研究会が新居浜市立神郷幼稚園と神郷小学校で「体験活動や人との関わりを通して、自分の思いを表現できる子どもを育てるには、どうすればよいか。」のテーマのもとに連携して開催されました。 その他、１１月の主な行事予定について報告を申し上げます。 ７日　中学生アメリカ訪問団帰国 ８日　県中学校新人大会　バドミントン ９日　校区文化祭（新居浜・金栄） １０日　小学校英語活動新居浜地区協議会(新居浜小) １２日　愛媛県人権・同和教育研究大会 １３日　小中音楽発表会 １５日　県中学校新人大会　サッカー　校区文化祭（大島） １６日　校区文化祭（宮西・高津・泉川・中萩・別子山） １８日　小中学校人権・同和教育研究大会 １９日　第５７回秋季県展新居浜移動展 ２０日　ハートなんでも相談員等連絡協議会 ２１日　第２回小中学校校長研修会 ２３日　第２８回県中学駅伝競走大会兼第１６回全国中学校駅伝大会予選会

	２４日　宝くじ文化公演「中島啓江＆HIROSHI　面白コンサート」 ２５日　新居浜市学校保健研究大会(東中) ２６日　小中学校教科外研修会 以上で、一般報告を終わります。
小野委員長	ありがとうございました。 何かご質問等はございませんでしょうか。
宇野委員	１１月１日に「えひめ教育の日」記念大会が松山であり、参加させていただきました。教育関係者やＰＴＡや地域の方々でホールが満席でした。その中で教育の日記念大会の制定宣言がありまして「未来を担う子どもたちが、愛媛で生まれ育ったことを誇りとし」というフレーズがありました。それを「新居浜で生まれ育ったことを誇りとし」と置き換えられるような新居浜市になったら素晴らしいなと思いながら聞かせていただきました。 そして記念トークでは北京オリンピックに参加した武田大作さんと佐伯美香さんが父親として母親として子育てについてお話をされました。お二人とも１年間のうちで数ヶ月しか家に居られないので家族の絆を大切にされているようでした。武田さんは父親として優しく厳しく子育てに関わっていると強調されていました。佐伯さんは試合がなくて家に帰ると子どもが赤ちゃん返りをするそうで、日頃関われない部分をしっかり抱きしめてやって母と子の関係を築いているという事でした。司会のアナウンサーのトークの進め方が上手で非常に良いまとめをされていました。 最後に小松小学校コーラス部が“愛媛の歌”と“ふるさと”等を合唱してくれまして、とても感動しました。
小野委員長	ありがとうございました。その他はございませんか。 それでは議案第３１号　平成２０年度新居浜市教育委員会点検・評価報告書について、ご説明をお願い致します。
日野総括次長	資料の８ページをご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞ ご審議を賜りたいと思います。よろしくお願い致します。
小野委員長	ありがとうございました。ちなみに評価委員の方に事務事業の説明をされるのにどれぐらいの時間がかかりましたか。
日野総括次長	最初の説明会は数時間で、その後、今井さんは２日間、小野さんには１日来ていただきました。

小野委員長	ありがとうございました。大まかにご説明をいただきましたが、何かご意見等はございませんか。
栗田委員	これが最終の報告書でしょうか。
日野総括次長	今日の審議を経て、この報告書を議会に提出させていただきたいと思っております。
栗田委員	自己評価のところが目立って、学識経験者の意見が読みにくい印象を受けました。全体的にありがたいご意見ですので、このままでもいいのかなとも思います。 自己評価基準が「C」というのは、あまり良くないという印象を受けますが、評価は「普通」なのですよね。
日野総括次長	はい。おっしゃる通り「C」が普通です。
小野委員長	もう少し分かりやすくまとめられないものかと思います。
池内事務局長	教育委員会の点検・評価は、今年初めてでしたので、手探りの状態で致しました。法律の主旨としては、教育委員会が所管している事務を全て点検しなさいという事で、結果６７項目ありました。学識経験者３名に我々の点検を説明して評価をいただきました。１事業ごと全てにコメントをいただくという事になりましたら、負担も大きくなります。これを作るに当たっても３日間にわたり足を運んでいただき、評価をいただいた方もいらっしゃいます。各課どのような取組をしているのかを知っていただいた上で、どう感じたのか、どう改善したらいいのかという意見をいただきました。それに対して担当課で来年度以降どう取り組んで行くのか相談をさせていただいております。最後に総まとめとして、全体的なご意見をいただき、教育委員会として今後の方向性を検討するというような流れで作成しています。県の場合は９月議会で報告書を提出していますが、１２市町のうちでも新居浜市は早く出来上がったと思います。ただこの報告書を作成するのに、相当な労力をかけておりますので、来年に生かせるようにという考えで作成しました。来年度に向けてここに書いているものも含めて改善・改良をしたいと思います。１２月議会を目前に、来週には議長に説明する予定です。来年以降、よりわかりやすい報告書となりますよう検討したいと思います。 議会に報告書を提出した後は、ホームページや支所に報告書を備え付けて、市民の方にも見ていただきいろんなご意見をいただいて、これからの取組に生かせていきたいと思いますので、よろしくお願い致

	します。
宇野委員	随分時間と労力をかけられて、これだけの素晴らしい評価されたのですが、教育委員会で見直して改善できる部分もあるし、学校現場でも分かって欲しい、伝わって欲しいという内容もあるので、どうか眠らさないようにして下さい。 学識経験者の意見の中で、郷土を学び郷土を愛する心の育成のために、「学芸員による出前講座を」というのがありましたが、新居浜市に住んでいながら新居浜の歴史や素晴らしさが分かっていないと思います。実際我々も若い時には分かってなかったと思います。そのご意見は良かったと思います。また、学校評議委員会の積極的な開催という部分は、学校現場に伝わって欲しいと思います。 少し厳しい意見になりますが、「各組織ともトップの影響力は甚大である」という文言がありましたが、心して受け止めなければならない部分であろうと思います。
池内事務局長	宇野委員さんも言われたように、学校にもこういうものが出来たという事をお知らせして、中身を十分理解していただき、役立ててもらえるような方向に持っていきたいと思っております。
小野委員長	ありがとうございました。その他何かご意見はございませんか。太田委員さんどうですか。
太田委員	はい。質問ですが、これは市議会で一通り今日のような説明をしていただけるのでしょうか。
池内事務局長	いいえ、報告書の提出という形を取らせていただくのですが、議会の冒頭でこれをお配りして、後で読んでいただくことになります。議会で提案するものの中で、懸案事項や特に重要で事前に説明が必要な場合は、会派説明という制度があり、市議会の会派ごとに説明する場があります。その一つのテーマとして出させていただき、この報告書を作った経緯等について説明いたします。そして本会議でお配りすることで、報告とさせていただく形になります。
小野委員長	ありがとうございました。よろしいでしょうか。大変でしょうが、外部の方に評価をいただき、見直して行くというという事が必要であるという事ですね。その他何かございませんでしょうか。 それでは、議案第３１号について、ご承認いただけます委員さんは挙手をお願い致します。（全員挙手） はい、全員挙手ですので、承認とさせていただきます。ありがとう

	ございました。 　それでは、その他についてお願い致します。まず、教育委員会取組方針（案）について説明をお願いします。
池内事務局長	お手元の教育委員会取組方針（案）の資料をご覧ください。これは教育長を中心とし、毎年それぞれ課ごとに取組をまとめております。毎年ご意見をいただく中で、新居浜市の子どもをどう育てたいのかという事をまず決めてから、具体的な取組を決めるべきとのご意見がありました。２０年度の取組方針が出来た時も、この１年をかけてどのような目標を掲げるかを検討すべきいうご意見が教育委員さんからもありましたので、教育委員さんに新居浜市の子どもたちをどう育てていけばいいのか、どういう子どもになって欲しいのか等の思いを書いていただきました。それを元に、教育委員会の課長で議論をさせていただきました。ご存知のように平成１８年１２月に教育基本法が大幅に改正され、教育三法も改正され教育委員会の役割等も明記される中で、先般教育基本計画も国から示されました。そのことも踏まえ、また、教育委員会基本方針の１０項目を参考にして、教育委員さんのご意見も含めて作らせていただきました。 　言葉の表現は違うかもしれませんが、新居浜で育った子どもが新居浜を愛せないというのではいけないというのが４名の教育委員さんたちのお考えでしたのでした。当然ながら、我々にとって子どもたちは未来を担う宝物です。そういったもの全てを含めて考えた結果、このようにまとめました。 　＜資料に基づき説明＞ 　以上を、我々でまとめさせていただきました。具体的な取組については、今年の取組の進捗状況や成果、反省点、またそれ以外の課題や懸案事項を担当課ごとにまとめて、教育長とのヒアリングをして来年度の取組を決めていこうと思っております。そのようなことで、今年度の取組についての総括を一度行います。その内容については、１２月の教育委員会で報告するような予定にしております。
小野委員長	今日はこの案を説明していただいたという事で、後日また意見交換会をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。その他のご報告をお願い致します。
池内事務局長	中学校選択制の申請状況についての資料をご覧下さい。１０月３１日で締め切りました中学校選択制の申請状況につきまして、報告させていただきます。来年度の入学予定者が１，１６４名、その内７７名が指定校以外の申請をされています。その内訳は資料にあるとおりです。

	西中学校については、受入可能人数２１名に対して、校区外からの希望が４０名です。これは、この制度が平成１６年度に始まって以来のオーバーですので抽選を致します。希望者の４０名の中には、兄姉が現に西中へ通っている生徒さんが１０名います。その場合は、優先的に許可することとしておりますので、４０名のうち１０名は抽選の対象から除き、残りの３０名が抽選の対象者となります。ですから枠としては残り１１名です。３０名の方にくじを引いてもらって、１１名の方に西中への入学を許可することと致します。なお、この抽選会は、１１月２２日土曜日の午前１０時から市役所５階の大会議室で行われる予定です。該当の保護者の方へ文書を送付することにしています。 その他について、一つの学校から１０名以上の希望が出るというのはこの制度を作った主旨の成果が上がっている面もありますし、何か問題があるのかなという部分もございますが、そういった学校が３校あります。今年の中学校選択制の申請状況は今まで無かったような動きがありました。
小野委員長	ありがとうございました。何かご質問はございますか。
桒田委員	入学予定者数が減るところは、クラス数が減る可能性があるのですか。
小野委員長	増える学校は抽選で、減る学校はそのままという事ですか。
池内事務局長	はい。減りようによってはクラス数が減る可能性はあります。
曽我副課長	今から転入や転出による異動があると思いますので、また変わってくると思います。
池内事務局長	クラス数については、多少の変化があるかもしれませんが、現時点ではこの通りです。
小野委員長	でもいい事かも知れませんね。以上でよろしいですか。
阿部教育長	今、池内事務局長から報告があった中学校選択制度についてですが、平成１６年度から取り入れ今年で５年目に入りました。当初の大きなねらいとしては、開かれた特色ある学校づくりでした。小学校につきましては昔の村の流れがあり、近くに学校があっても遠くの自分の校区の学校へ通わなければならない校区制がありました。それ以外の理由としては、部活動等があったと思います。そういった事から、

	中学校選択制度や、校区の弾力化を図って参りました。５年目で初めて希望者が多いためくじ引きをする、１つの学校から１０名以上の転校の希望が出たりしています。主旨を含めてこのままでいいのか見直す必要が出てきたと思います。 　現在、泉川、惣開、垣生公民館を中心として、学校支援地域本部というのを教育委員会で立ち上げています。更に、浮島、中萩、角野、船木にも広めていっております。やはり地域から支えられる学校づくりが必要だと思います。教育委員会の主な目標として、地域に誇れるとありますが、新居浜市として誇れるのはもちろん、更に自分の住んでいる地域を誇るという意味合いもあります。それを教育委員会で壊そうという気持ちは全くございません。しかし５年目にあたり、来年度の実施にあたり、この考えに対してどの様なものがいいのか検討をしたらいいと思います。いかがでしょうか。
桒田委員	ぜひ検討をしていただきたいと思います。これは方向性が違ってきている部分も見られますので、見直しも含めた検討をお願いしたいです。
阿部教育長	はい。そういう事で進めたいと思います。ありがとうございました。
小野委員長	よろしくお願い致します。では次をお願い致します。
坂本図書館長	図書館から、ブックスタート実施事業について報告致します。資料をご覧下さい。ブックスタート実施事業につきましては、平成１６年度から、すべての赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり向かい合い、心ふれあうひとときを持つきっかけを作ってもらおうという主旨で図書館の事業として始まりました。手段としては、保健センターの５か月児健康相談時に図書館司書２名が出向いて、読み聞かせなどをして絵本の大切さを説明しながら、ブックスタートパックを保護者の方にお渡しするという方法で実施しております。その際に、０歳時に図書館カードの発行という事を平成１７年度から行っております。 　その成果につきましては、去年実施したブックスタートアンケートの結果をご覧下さい。結果と致しましては、９７％がほぼ満足をされていまして、家庭でも絵本を見るようになった、絵本に興味を持つようになったという声が聞かれています。これは実施団体としては、全国で６７２自治体が行っています。これは、ＮＰＯブックスタートから購入している自治体の数です。大体定価の３割引程度の値段で購入しており、このＮＰＯの方にブックスタートに賛同する出版社がそれ向けに安く提供しているという仕組みで、そこから新居浜市も購入しております。購入費用は年によって変わっていますが、これは毎年購

	入する本が違う為に値段も変わっているのと、出生数によって配布数も変わってきますので、その違いです。平成１６年度からこの事業を実施しましたところ、０歳児から６歳児までの貸出冊数が増えてきています。出生数が減っているので、減っている年もありますが、お話会の参加数もどんどん増えてきております。 　そのフォローアップ事業としては、「おひざにだっこのお話会」を平成１８年３月に実施し、今年４月に２回目を実施しました。幼児向けのお話会は、平成４年の現在の図書館の開館以来、定期的に実施してきました。乳幼児向けのお話会もしないといけないという声がアンケートの中でもありましたので、今年１０月よりボランティアの方のお力を借りて図書館多目的ホールにて「ちいさなぞうのおはなしかい」を実施しましたところ、大変好評で保護者ともども図書館へたくさん来られましたので、これからは月１回実施致します。今後も絵本を通じて親子の触れ合いの大切さを伝えていくために、保健センターやボランティアの方たちと協働で続けていきたいと思っております。以上で報告を終わります。
小野委員長	ありがとうございました。いつも活発な図書館活動をありがとうございます。
阿部教育長	先ほど教育長報告でも申し上げましたが、現在、アメリカへ訪問している子どもたちが明日の１０時半頃こちらへ到着する予定です。その新居浜市中学生国際交流海外派遣事業について、新居浜市ホームページの学校教育課のところに掲載しているものを印刷してお配りしております。もう一つお手元に“The Franklin Times”という資料があると思いますが、引率している高橋指導主幹が作って送られてきております。しかしこのままホームページに掲載できないので、作り直してホームページに掲載しています。今年で２年目ですので、事業としてここまで成長してきたのかなと思います。２年連続したからこそこれだけの余裕ができたのではないかと思います。またお目通しをいただければと思います。
小野委員長	はい、ありがとうございます。
栗田委員	これはどのように届くのですか。
曽我副課長	高橋主導主幹からメールで教育委員会に届きまして、それを編集してホームページに載せています。
小野委員長	毎日の日報のように届くのですか。

曽我副課長	そうですね。生徒の安否確認のためと、保護者の方も毎日どのようなことをしているのだろうと心配されるという事で、できるだけ多く配信するようにしています。これと併せまして、希望の保護者には携帯電話のメールアドレスを事前に登録していただき、そちらにも情報が届くようにしております。
桒田委員	それは素晴らしいですね。
阿部教育長	続いて、生徒指導関係の資料をご覧ください。不登校生は１０月末現在で９９名と非常に多くなっています。いろいろな取組みをしているところなのですが、昨年よりも多くなっています。 先ほど、中学校選択制の話が出ましたが、この不登校生の内、中学校を選択して行った生徒が５名おります。そして、中学校へ入る時に家庭の都合で住居変更して本来行くべきだった学校へ行けなかった生徒が８名で、約１割を占めています。 中学校選択制の意味が本当に真剣にとらえられているのかという疑問があります。不登校問題を考えた時に見直すきっかけになると思います。子どもの長所を見つけるために始めた事なのに、実際はそう動いていないという事が残念です。家庭の事情でそれぞれ転居はあると思いますが、子どものその後の生活に影響があるというのが今回の結果として出ているのではないかと思います。
太田委員	ここでわかるのは、転居している生徒は要注意ということですね。一家揃って引っ越しという場合はいいですが、保護者が離婚・別居という辛い事情で転居する場合はリスクがあると思います。担任の先生も注意をすることが大事だと思います。
阿部教育長	次に、いじめ関係の資料をご覧下さい。４月からの累積としては小学校２８件、中学校１５件の合計４３件です。そのうち３９件は解決しておりますが、残りの４件は現在指導中です。 不審者情報は１１月に入り、まだ６日しか経っていませんが、すでに２件発生していますので、ちょっと心配です。以前から、年末になると増加する傾向があります。その２件のうち１件が全裸で飛び出したという情報が伝えられています。これもホームページに載せており、もちろん各学校へも伝達しております。こういった性的な露出がやや目立ってきているのが現状です。
近藤体育文化課長	お手元に広瀬歴史記念館のパンフレットがあると思いますが、広瀬歴史記念館の特別企画展と致しまして１１月１日から１１月３０日まで平成２０年度特別企画展「広瀬邸と八木甚兵衛」が開催されてい

	ます。８日と９日は第２回台所喫茶の開催、８日は１３時３０分から名誉館長である末岡さんの記念講演がありますので、よろしくお願い致します。
小野委員長	ありがとうございました。その他何かございませんか。
栗田委員	よろしいでしょうか。今年初めて教育委員会の点検・評価をされた感想を各課長にお伺いしたいのですが。
曽我副課長	私は主に事務事業の個々の評価を担当したのですが、この教育委員会の点検・評価とは別に、市独自の事務事業の評価もありますので、どうなのかなという気は致しました。
小野委員長	市としての自己評価もあるのですか。
曽我副課長	はい、あります。そのため重なる部分もあります。
小野委員長	なるほど。続いて真鍋次長さんお願い致します。
真鍋次長	今、曽我副課長さんも言われましたように、教育委員会で表には出ませんが、独自のもっと細かい調査を毎学期しております。今回の点検・評価では、どの事業を入れるのが良いのかがこれからの課題ではないかと思います。
近藤体育文化課長	外部委員さん３名に担当課から具体的に説明をさせていただいてそれに対して率直なご意見をいただきました。出前講座のご意見もいただき、出来るだけ早く取り入れたいと思っております。具体的にお示しいただけるのでありがたいと思います。
村上学校給食課長	給食センターでは、市民の方が来られる機会はほとんどありません。私どものしている仕事について説明をさせていただき、外部からのご意見をいただくことで、私自身でも気付かない事を指摘していただき、大変有意義であったと思います。今回４つの事務事業の評価を実施したのですが、その１つは別な形でも評価を受け、厳しい意見をいただいております。反省点が多々ありましたが、そのことを踏まえて、より良い給食の提供に繋げていきたいと思います。
小野委員長	これはお願いなのですが、米飯給食の率を是非高めていただきたいと思います。

村上学校給食課長	新居浜市の場合、米飯給食は週５回の給食のうち３回で、県下では平均的ではないかと思います。地産地消という観点からも、地元産米の使用について考え、また米飯給食の回数を増やすという事も今後検討したいと思います。
小野委員長	はい、是非お願いしたいと思います。
坂本図書館長	図書館では、今回予算の伴わないような事業を出させていただきました。社会情勢の変化に伴って、図書館で新しい事業立上げた事を評価していただき、大変ありがたく思っています。その中で、委員さんから私達に改善の余地があるような事のご意見もいただきましたので、そういった貴重な意見を参考にしながら今後いろいろやっていきたいと思いました。ありがとうございました。
桒田委員	今回評価していない事業を、どうやって取捨選択するのかと真鍋次長さんが言われていましたが、評価の難しさを感じました。全部を評価したら膨大な量になりますし。今回評価した事務事業は、基本的にどのような基準で取捨選択をしたのかをお教えいただきたく思います。
小野委員長	外部評価が始まったという事でいいのではないですか。
桒田委員	そうですね。
小野委員長	ありがとうございました。以上をもちまして平成２０年度第１１回教育委員会定例会を終わります。次回の定例会は、１２月４日木曜日の１６時と開催いたします。本日はありがとうございました。 新居浜市教育委員会会議規則第５４条の規定により署名する。 委員名 委員名